

【会社概要】

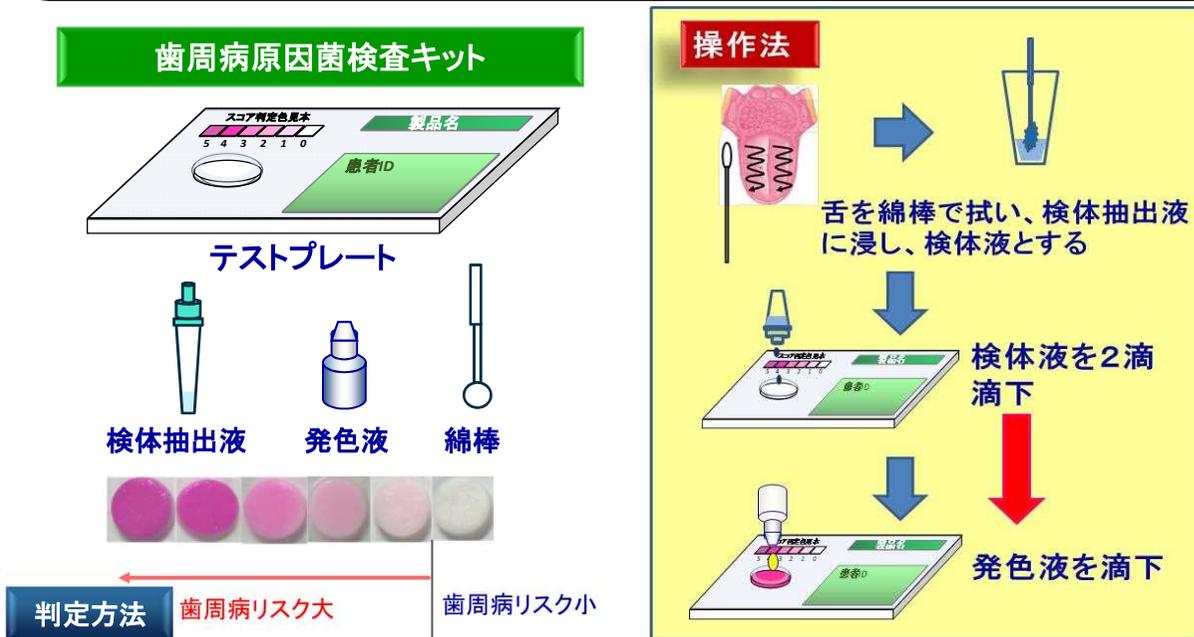
- 所在地：宇佐市
 - 代表者：代表取締役 渡辺 幹雄
 - 創業：平成5年
 - 売上高：6.6億円
 - 従業員数：26名
 - 付加価値額：2.5億円(※)
 - 事業内容：体外診断用医薬品（インフルエンザ診断キット等）の開発・製造・販売
- ※営業利益、人件費、減価償却費の合計

【自社の競争優位性、強み】

- 体外診断用医薬品分野における国内トップクラスの技術力
 - ・創業以来、インフルエンザ診断キット、アレルギー検査キット等23年間で20製品を開発
 - ・歯周病原因菌の検出に関する特許出願中
 - ・開発から薬事承認まで、1人ですべてを1人でできる人材を確保（12人）
- ※通常は5人体制
- 大学や研究機関からのあらゆる依頼に対応することによって、これらの機関との信頼関係を構築
- ※現在35件の研究開発に対応中

【成長戦略】

- テーマ「歯周病原因菌検査キットの開発・製造・販売による新たな市場開拓」
- 定量目標：5年後までに売上高15億円（2.3倍）、従業員数46名（1.8倍）、付加価値額5.3億円（2.1倍）
- 成長の方向性
 - ①自社にしかない技術を使い新製品（歯周病原因菌検査キット）を開発・製造・販売し、新たな市場開拓に挑戦
 - ※歯周病原因菌の早期発見による歯の健康、ひいては健康寿命の増進
 - ②パナソニックSN九州の旧工場を改修のうえ、移転。最新設備導入を行い、生産・開発能力向上及び品質管理強化。
- 補助金使途：販路開拓等マーケティング（30,000千円）、設備導入（30,000千円）



【会社概要】

- 所在地：大分市
- 代表者：代表取締役社長 安部 征吾
- 創業：昭和45年
- 売上高：10.7億円
- 従業員数：122名
- 付加価値額：6.6億円(※)
- 事業内容：半導体後工程、試作・開発サポート

※営業利益、人件費、減価償却費の合計

【成長戦略】

○テーマ「次世代パワーデバイス(※1)分野におけるニッチトップ企業を目指す」

○定量目標：5年後までに売上高16.7億円(1.6倍)、従業員数139名(1.1倍)、付加価値額9.2億円(1.4倍)

○成長の方向性

①産業技術総合研究所との共同研究をさらに進め、次世代パワーデバイス製品の設計開発から少量多品種生産までを行うニッチトップを目指す

※工場設備等の一般産業向け

②設備投資による生産能力増強(現状2,000個/月→5万個/月の生産が可能)

※1 次世代パワーデバイス:炭化ケイ素や窒化ガリウムを基板とした製品。シリコン基板よりも高耐熱/高変換効率が達成できると期待されている

○補助金使途：設計開発等技術者採用(30,000千円)、設備導入(30,000千円)

【自社の競争優位性、強み】

○産業技術総合研究所との共同研究で培ったパワーデバイス(※)パッケージの設計・製造技術は国内トップクラス

○パワーデバイスパッケージの開発から少量多品種生産まで一貫して対応するのは他社では困難

※パワーデバイス：モーターや照明の制御や電力の変換を行う半導体。電力変換(周波数変換、インバーター等)のキーデバイス。シリコン基板が主流。

【成長の方向性】



【パワーデバイス開発例】

ディスクリート(単機能)



モジュール(組み込み)

